

成功の旗を掲げる

アルミ製旗ポール、リフター、ボラード、カメラスタンドなどの製品を携え、株式会社サンポールは東南アジアにおける日本の「ものづくり」の旗手を目指します。

日本を代表する旗ポール・車止めメーカーである株式会社サンポールは、海外での事業展開に力を入れています。その大きな節目となったのは、2017年にタイの旗ポールメーカーである European Flagpole Co.,Ltd.を買収し、東南アジア市場へ参入したことでした。現在は ASEAN 諸国を中心に事業を進めていますが、今後は他地域への拡大も視野に入れています。

サンポールの海外事業は、3つの重要な行動指針の基に進められています。1つ目は、先入観を持たずに現地のお客様の声に耳を傾けることです。2つ目は、常に誠実で公正な取引を心がけることです。良い製品を作るだけでなく、アフターサービスも含めた総合的できめ細かいサービスを提供します。そして3つ目は、模倣品との差別化です。先の2つの指針は、他社製品との優位性も明確にしてくれます。こうして、同社のサービスは海外でますます信頼を高めていくことが期待されます。

海外事業における主力製品は、地下に収納し、必要な時だけ地上に引き出すことができる車止め「リフター」です。また、軽量で長持ちするアルミ製旗ポールや、観光客がカメラやスマートフォンを置いて撮影できるカメラスタンドもまた重要な製品です。

同社は今後、「インパクトボラード」の販売を進めていくことを計画しています。インパクトボラードとは、独自の補強材を組み込むことで車の衝突衝撃を受け止める車止めです。日本で多発する高齢者ドライバーの事故に着目して開発されたこの製品は、国内で急速に普及し、既に海外でも好印象を得ています。近い将来、社会の高齢化に伴って他国でも同様の事故が発生するでしょう。インパクトボラードはこの社会問題を解決する一助になるとサンポールは確信しています。